

「アートと環境の未来・山口」  
「YCAM 10周年記念祭」

2013年6月17日 プレスリリース

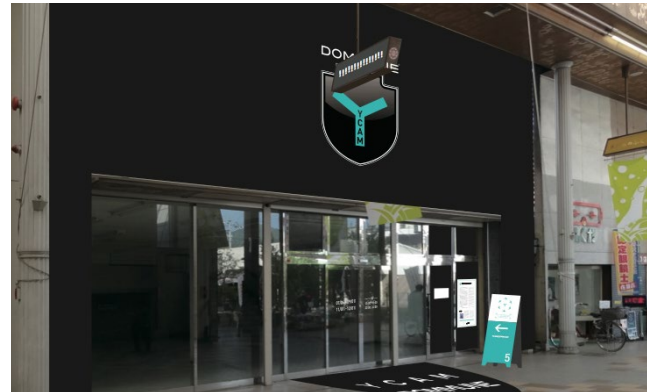
山口情報芸術センター [YCAM] 10周年記念祭  
作品展示／ライブストリーミングスタジオ&チャンネル

## 宇川直宏「YCAMDOMMUNE (ワイカムドミューン)」

2013年7月6日(土)ー9月1日(日)、11月1日(金)ー12月1日(日) 火曜休み 入場無料  
DOMMUNEビル(道場門前商店街内)

### 日本のカルチャーシーンを席卷するライブストリーミングスタジオ「DOMMUNE」 過去の放送アーカイブごと山口に出現！

山口情報芸術センター [YCAM] では、YCAM10周年記念祭の一環として、アーティストの宇川直宏が主宰するライブストリーミングスタジオ兼チャンネル「DOMMUNE(ドミューン)」の山口版「YCAMDOMMUNE(ワイカムドミューン)」を、山口市内の商店街で展開します。2010年に開局したDOMMUNEは、クリエイターたちによるハイクオリティなトークとライブパフォーマンスを日々インターネット経由で生中継し続けており、現在では全世界規模で多数の視聴者を獲得しています。今回展開するYCAMDOMMUNEでは、DOMMUNEが過去に放送してきた約2000番組＝約5000時間の中から、厳選したプログラムを、商店街の空きビル1棟をまるごと用いたインスタレーション作品として初公開するほか、山口発のオリジナル番組を配信します。インターネット上でリアルタイムに視聴するしか無かったDOMMUNEの番組を視聴できる唯一のスポットとなる本プロジェクトは、ソーシャルメディアが隆盛を極める今日における場所性を改めて捉え直すものになるとともに、最先端のクリエイターが山口に集う新たな拠点になります。この機会にぜひご来場ください。



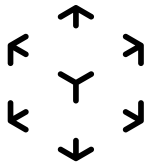
道場門前商店街内にオープンする「DOMMUNEビル」

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしく願い申し上げます。



山口情報芸術センター  
Yamaguchi Center for Arts and Media

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 情報制作課 田中・澤田  
TEL:083-901-2222 FAX:083-901-2216 メールアドレス:press@ycam.jp  
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>  
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



## 全方位アーティスト宇川直宏が放つ〈現在美術〉、DOMMUNE



DOMMUNE (<http://dommune.com>)

DOMMUNEは、多彩な創作活動で知られる宇川直宏が2010年3月に開局したライブストリーミングチャンネル兼スタジオです。毎週月曜日から木曜日まで、トーク番組とDJのライブパフォーマンスをインターネット経由で中継しており、全世界で多くの視聴者を獲得しています。その最大の特徴は、ストリーミング放送とは思えない音質／画質の高さはもとより、圧倒的に充実した内容にあります。これを支えるのが、宇川の存在そのものです。

宇川は、出演者のブッキングから、放送中の撮影やカメラの切り替え、果ては視聴者の盛り上げなど、番組づくりに必要なほぼ全てを担っており、DOMMUNEとそれを成立させる行為自体を、ストリーミング放送の枠を超えた「現在美術」作品であると定義しています。

### ソーシャルメディア時代のいま、ここ—現在美術 DOMMUNE

その背景にはDOMMUNEを取り巻く特殊な〈現場〉があります。専用スタジオから配信するDOMMUNEには、コンピューターなどの端末を通じた視聴以外にも、スタジオでの観覧という楽しみ方もあります。〈現場〉と言うと、出来事がありのままに起きるスタジオのみを指しているように思えますが、宇川は端末の周囲の空間のほか、両者をつなぐソーシャルメディア上のコミュニケーション空間をも〈現場〉として捉え、作品としてのアウラを表出させるための、事故をも含んだ実験を日々繰り返しています。ゆえに現在美術としてのDOMMUNEは、ソーシャルメディアの特性を精巧に活用した先端的なメディアアート作品であるとも言えるでしょう。

### ■ 宇川直宏 (うかわ・なおひろ)

グラフィックデザイナー、VJ、ミュージッククリップディレクター、文筆家、現代美術家、京都造形芸術大学教授ほか。多岐に渡る活動をおこない、既成のファインアートと大衆文化の枠組みを抹消し、フリースタイルでジャンルを横断する鬼才。2010年には、日本初のライブストリーミングスタジオ兼チャンネル「DOMMUNE」を個人で開局。記録的な視聴者数で国内外で話題を呼び、同年の文化庁メディア芸術祭アート部門推薦作品に選出。

2011年5月、東日本大震災をきっかけに結成された「プロジェクトFUKUSHIMA」のコンセプトに賛同し、福島に世界初の支局を開局。その後、ドルトムント（ドイツ）のアートセンター「ドルトムンターU」に海外では初の支局を期間限定で開局。ソーシャルメディアを実験的に生かした様々な活動を展開している。現在、宇川の職業欄は「DOMMUNE」。

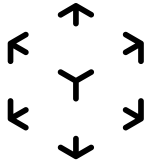
### ■ ツイッター (Twitter)

2006年にアメリカのObvious社（現Twitter社）によって開始された無料のマイクロブログサービス。利用者は140字以内の「つぶやき（ツイート）」と呼ばれる短文を投稿することができるほか、「ハッシュタグ」と呼ばれる機能を使って特定の話題について言及している人々のつぶやきを瞬時に検索することができる。

現在では、2億人のユーザー数を誇り、1日に投稿されるつぶやきの数は4億にもものぼる。日本では、2011年に東日本大震災の際に、救助や避難、被災生活の援助に関する情報の共有に使われたことから、「Facebook」とともにユーザー数が激増した。

### ■ アウラ

「物体から放たれる雰囲気」を意味するラテン語。ドイツの哲学者、ヴァルター・ベンヤミンが著書「複製技術時代の芸術」において、儀式や社会階級など伝統や因習と結びついた芸術作品から感じ取れるある種の畏怖や尊崇の念のことを、この語を用いて説明した。ベンヤミンは、アウラをアーティスト自らの手によって創作したオリジナルにしか宿らず、それを複製したものには宿らないと考えていた。



「アートと環境の未来・山口」  
「YCAM 10周年記念祭」

2013年6月17日 プレスリリース

山口情報芸術センター [YCAM] 10周年記念祭  
作品展示／ライブストリーミングスタジオ&チャンネル

## YCAMとDOMMUNEがタッグ結成、中心市街地にサテライトスタジオがオープン！



「YCAMDOMMUNE」ロゴ

そして今回、YCAM10周年記念祭を機にDOMMUNEがYCAMとのタッグ「YCAMDOMMUNE」を結成します。

山口市内の商店街の一角にサテライトスタジオ「DOMMUNEビル」を設け、山口ならではのYCAMならではの番組を世界に向けて配信するほか、門外不出とされていたDOMMUNEの放送アーカイブをついに公開します。

### 門外不出のDOMMUNEアーカイブ、ついに公開

DOMMUNEは開局以来、約2000番組＝約5000時間という膨大な量の放送をおこなってきました。そこには、日本のサブカルチャー／大衆文化に多大な足跡を残した歴史の証人や、いま注目すべきムーブメントの中心人物による貴重な語り、国内外で活躍する著名DJによる渾身のパフォーマンスを記録した映像が含まれており、これらはいずれも20世紀後半から21世紀初頭の文化を後世に伝える〈文化遺産〉としての可能性を大いに秘めています。

しかし、記録映像の単純な公開は、〈現場〉の新しい在り方を探求する現在美術としてのDOMMUNEの価値を損なうため、これまでごく限られた機会にしかおこなわれてきませんでした。そして今回、東京から遠く離れ、インターネット利用率が全国下位に低迷する山口の地を舞台に、建物全体を使った映像インスタレーションという形式でアーカイブの一部を公開することで、〈現場〉の概念に新たなレイヤーを導入すると同時に、近年クローズアップされるデジタルアーカイブの在り方に一石を投じます。

### YCAMDOMMUNEからの配信番組

YCAMDOMMUNEからは以下の番組を配信する予定です。(各回19:00より配信開始予定)

7月6日(土)

宇川直宏、DOMMUNEを語る

聞き手：エキソニモ、渡邊朋也(思い出横丁情報科学芸術アカデミー)

7月7日(日)

スナック芸術丸出張編

都築響一による旅館 西の雅 常盤「女将劇場」生中継！

7月14日(日)

架空の映画音楽の為の映像コンペティション審査員＋作曲家トーク

7月28日(日)

ILLUREMEの「ヒップホップっこども新聞」

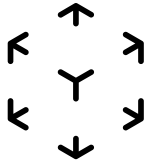
せんせい：イルリメ えんちょう：伊藤ガビン

8月24日(土)

菊地成孔と大谷能生のJAZZDOMMUNE

その他の番組は決定し次第、公式ウェブサイトでお知らせします。

<http://ycamdommune.ycam.jp/>



## 7月27日には豪華ゲストによるトーク&ライブパフォーマンス!

7月27日には、10周年記念祭の幕開けを飾るイベントの1つとして「YCAMDOMMUNELIVE (ワイカムドミュンライブ)」を開催。舞台をハイレベルな音響設備を誇るYCAMに移し、豪華ゲストによるトーク&ライブパフォーマンスをおこないます。

第一部のトークでは、著述家の湯山玲子をホストに、10周年記念祭アーティスティック・ディレクターの坂本龍一を迎え、「爆クラ (爆音クラシック)」を敢行。坂本が影響を受けたクラシックから現代音楽までを爆音で堪能します。

第二部のライブ「禅と生命体と宇宙線」では、89年に自ら音楽研究機関を開設し、近年ではコンサート形式の研究発表を定期的におこなっている音楽家のヤン富田が登場。「音楽による意識の拡大」をテーマに最先端の電子音楽を生み出すヤン富田が、今回は「脳波提供被験者」に小山田圭吾、「被験者介護」にコンピュータを迎え、生体信号から音楽を奏でるセッションを披露します。このほか演目「音と光の多元的考察」ではロボ宙も出演。YCAMに一夜限りの音楽宇宙が出現します。

### ■ 湯山玲子 (ゆやま・れいこ)

著述家、ディレクター。近年の著作に『ピッチの触り方』(飛鳥新社)、『快樂上等! 3.11以降を生きる』(幻冬舎/上野千鶴子との共著)、『ベルばら手帖 マンガの金字塔をオトナ読み』(マガジンハウス)など。女性誌での連載多数。日大芸術学部非常勤講師。

### ■ ヤン富田 (やん・とみた)

前衛音楽からポップ・ソングまでを包括する希代の音楽家。音楽の研究機関「オーディオ・サイエンス・ラボラトリー」を主宰する。近年では、日本科学未来館シンボルゾーン、原美術館中庭、瀧博物館展望ホールなどの特殊な空間に於いて「ヤン富田コンサート」が開催された。近作に作品集「YANN TOMITA A.S.L. SPACE AGENCY」(TOKYO CULTUART by BEAMS)がある。

#### 開催概要

### 宇川直宏「YCAMDOMMUNE (ワイカムドミュン)」

2013年7月6日(土)―9月1日(日)、11月1日(金)―12月1日(日)

月・水・木 13:00-23:00

金・土・日・祝 12:00-24:00

入場無料 未就学児入場不可

会場: DOMMUNEビル (山口県山口市道場門前1-2-31)

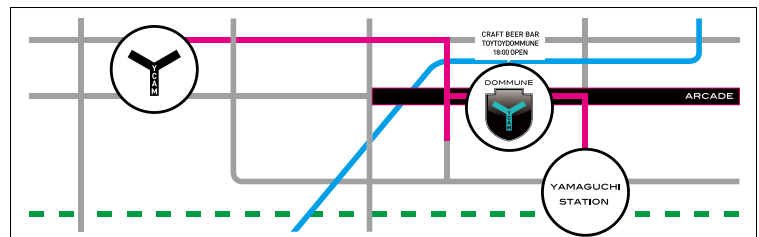
<http://ycamdommune.ycam.jp/>

主催: 山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援: 山口市教育委員会

技術協力: YCAM InterLab

企画制作: 山口情報芸術センター [YCAM]



### ■ 関連イベント

#### 「YCAMDOMMUNELIVE (ワイカムドミュンライブ)」

7月27日(土) 開演20:00 (23:00終了予定)

第一部: 爆クラ (爆音クラシック) / 出演: 坂本龍一+湯山玲子

第二部: ヤン富田ライブ「禅と生命体と宇宙線」 / 出演: ヤン富田ほか

料金、チケット発売日、そのた諸注意事項などはYCAM10周年記念祭公式ウェブサイトをご確認ください。